秋田大学理工学研究科

国費外国人留学生優先配置特別プログラムについて

秋田大学理工学研究科では、文部科学省国費外国人留学生の優先配置特別プログラムに採択されています。

本制度では、脱炭素化とグリーンエネルギーを中心とする環境配慮設計を教育する，分野横断型教育プログラム「国際グリーンサイエンステクノロジープログラム」です。主に東南アジアからの留学生を対象とし、環境科学の知識と高度な専門性を有し、各国や産業界で活躍する将来のリーダーを育成することを目指しています。

選考にあたって、学業成績が同等の場合は秋田大学と協定を締結している大学からの出願を優先します。提出書類は最終ページより確認してください。

なお、以下の条件は文部科学省の正式な発表に基づき変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1.対象

新たに海外から留学する優秀な者及び既に日本国内に滞在している優秀な者

・本学の博士前期課程に入学する者　２名。

・本学の博士後期課程に入学する者　２名。

2.年齢

1992 年 4 月 2 日以降に出生した者。

3.学歴

日本の大学院博士課程（前期）又は博士課程（後期）の入学資格を有する者（入学時点でこの条件を満たす見込みの確実な者を含む）

4.成績

・下記の方法で計算した学業成績係数が 2.30 以上であること。

・入学後も学業成績係数 2.30 を維持すること。学業成績係数が 2.30 を下回った場合は奨学金を停止する。

5.語学能力

以下いずれかの条件を満たす者。

・日本語能力試験（JLPT）のレベル N2 以上に合格している者。

・博士前期課程または博士後期課程への入学資格を満たす教育課程を，日本語を主要言語として修了した者。

・英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の B2 相当以上の資格・検定試験のスコアを有している者。
・博士前期課程または博士後期課程への入学資格を満たす教育課程を，英語を主要言語として修了した者。

6.渡日時期

原則として受入大学が定める同年の各学期の始まる最初の日（10 月）から数えて前後 2 週間のうち、受入大学が指定する期間に渡日可能な者。

7.査証・在留資格

渡日前に国籍国所在の在外公館で「留学」の査証を新規取得し、新規に取得した「留学」の在留資格で入国すること。

8.対象外

次に掲げる事項に一つでも該当する者については対象外とする。採用以降に判明した場合には辞退すること。

・渡日時及び奨学金支給期間において、現役軍人又は軍属の資格の者。
・指定する期日までに渡日できない者。
・過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生であった者。
・日本政府（文部科学省）奨学金制度による他の 2027 年度奨学金支給開始のプログラムとの重複申請をしている者。
・奨学金支給開始後（受入大学における学籍等発生後）に日本政府及び日本政府関係機関拠出の奨学金・フェローシップ等の受給を予定している者。
・「卒業見込みの者」であって、所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者。
・申請時に二重国籍者で、渡日時までに日本国籍を離脱したことを証明できない者。
・申請時から日本以外での研究活動（インターンシップ、フィールドワーク等）や休学等を長期間予定している者。
・学位取得を目的としない者。

9.奨学金支給期間

・博士前期課程　2 年
・博士後期課程　3 年

10.奨学金

・博士前期課程　月額 144,000 円
・博士後期課程　月額 145,000 円

11.旅費

留学生の居住地最寄りの国際空港から日本の国際空港までの下級航空券のみ支給する。その他の旅費は全て留学生負担とする。

ただし、国内推薦者については航空券を交付しない。

12.教育費

入学検定料、入学金、授業料は無料とする。(受入大学が負担)

13.奨学金支給停止事項

次の場合には、文部科学省は奨学金の支給を取り止める。また、これらに該当した場合、これまで支給した奨学金の一部又は全ての返納を命じることがある。

・申請書類に虚偽・不正の記載があることが判明したとき。

・文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。

・日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。

・大学における学則等に則り、懲戒処分として退学・停学・訓告及びこれらに類する処分を受けた場合あるいは除籍となったとき。

・大学において学業成績不良や停学、休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。

・「留学」の在留資格を新たに取得せずに渡日したとき又は「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。

・本奨学金との併給が認められていない奨学金（日本政府及び日本政府関係機関拠出のその他奨学金・フェローシップ等）の支給を受けたとき。

・採用後、進学に伴う奨学金支給期間延長の承認を受けずに上位の課程に進学したとき。

・当該大学を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。

・1 年毎の各時点における学業成績係数が 2.30 又は大学が定める成績基準を下回ったとき。

14.プログラムの修了要件

・入学する専攻の修了要件を満たして博士前期課程を修了すること。

・入学する専攻の修了要件を満たして博士後期課程を修了すること。

・こちらが指定する科目を受講すること。

博士前期課程での必修科目は計 8 単位、博士後期課程での必修科目は計 2 単位。

15.学業成績係数の算出方法

・最終学歴の学業成績、在学生は現在在籍する課程の学業成績係数を算出すること。

・算出手順下表により「評価ポイント」を算出し、計算式に当てはめて計算すること。

区 分	成 績 評 価				
4 段階評価		優	良	可	不可
4 段階評価		A	B	C	F
4 段階評価		100～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点～
5 段階評価	S	A	B	C	F
5 段階評価	A	B	C	D	F

5 段階評価	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点～
評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

{(「評価ポイント 3 の単位数」×3）＋（「評価ポイント 2 の単位数」×2）＋（「評価ポイント 1 の単位数」×1）＋（「評価ポイント 0 の単位数」×0)}/総登録単位数

（注 1）履修した授業について単位制をとらない場合は、単位数を科目数に置き換えて算出すること。

（注 2）上表の成績評価にない評価は対象としないこと。

16.国籍

●重点地域〔南西アジア〕

インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ

●重点地域〔東南アジア〕

インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス

〔東アジア〕

モンゴル

〔大洋州〕

オーストラリア、キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニウエ、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア

〔北米〕

アメリカ、カナダ

〔中南米〕

アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア

〔欧州〕

アイスランド、アイルランド、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、アンドラ、イタリア、ウクライナ、ウズベキスタン、英国、エストニア、オーストリア、オランダ、カザフスタン、北マケドニア、キプロス、ギリシャ、キルギス、クロアチア、コソボ、サンマリノ、ジョージア、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、デンマーク、ドイツ、トルクメニスタン、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポルトガル、マルタ、モナコ、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルク、バチカン

〔中東〕

アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、ヨルダン、レバノン、パレスチナ

〔アフリカ〕

アルジェリア、アンゴラ、ウガンダ、エスワティニ、エジプト、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボベルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スーダン、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、チュニジア、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、南スーダン、モザンビーク、モーリシャス、モーリタニア、モロッコ、リビア、リベリア、ルワンダ、レソト

●本プログラムの合格者は、2027 年に行われる予定の本大学院入試を受験して合格する必要があります。

まだ、当該入試の募集案内は公開されていませんので、情報更新まで今しばらくお待ちください。以下 URL に掲載予定です。
https://www.riko.akita-u.ac.jp/graduate/prospectus/
https://www.riko.akita-u.ac.jp/en/graduate/prospectus.html

このプログラムへの参加を希望する方は、**２０２７年１月７日（木）**まで以下の連絡先に次の書類をお送りください。

【提出物】（１～３全て提出してください）様式はプログラム紹介ページにあります。
<https://www.riko.akita-u.ac.jp/intro/mext_scholarship.html>

１．別紙様式５：申請書
※今後行う選考で使用しますので、別添の申請書に必要事項を入力してください。
※注意※　この申請書に入力したからと言って、推薦が決まった訳ではありません。
推薦は、この後行う選考で決まります。

２．別紙様式６：専攻分野及び研究計画
※指導を受けたい教員に対して、事前に連絡を取り研究指導の了承を得てください。

３．学歴を証明するもの
（卒業証明書・単位取得証明書等、様式５に記載した学歴（高等教育以上）全て）

【連絡先】
秋田大学大学院理工学研究科大学院担当
E-mail：koudai@jimu.akita-u.ac.jp